

No	課(室)名	R1事業名	事業概要	方向性		委員の意見	対応策
				内部評価	外部評価		
1	めがねのまちさばえ戦略課	めがねのまちさばえ感謝祭開催事業	事業は3部構成とする。「吹奏楽ライヴ」は、先輩アーティストや有名アーティストとのコラボレーションを中心にライブ感覚での演奏会を開催する。「めざましライブカントリーツアー」は、有名アーティストとの共演を経験することで吹奏楽のレベルアップを図る。「吹奏楽スペシャルコンサート」は、県外有名高校吹奏楽部を招聘し、演奏会を通じて子どもたちの更なるレベルの向上を図る。	内容縮小	内容縮小	アンケートを活用するなど、市民のニーズをしっかりと把握して事業を実施していただきたい。	来場者や参加者へのアンケートなどを実施することにより、市民のニーズを取り入れた事業として見直す。
						吹奏楽の発展に向けて、活動支援金の拡充に努めていただきたい。	活動支援金の拡充が図れるよう、事業の収益確保やコスト削減に努める。
						財源の確保に努めていただきたい。	国や県の補助、各種団体の助成金を積極的に活用するなど、財源確保に努める。
2	長寿福祉課	いきがい講座事業	市内に住所のある60歳以上の高齢者を対象に、市内6箇所において、趣味・教養・技能などの各分野の多様な講座を開催する。 年度を前期(4月～9月)・後期(10月～3月)に分けて受講生を募集する。	事務改善	事務改善	いきがい講座の開催会場が市中心部に集中しており、地区によっては参加しにくい高齢者がいる可能性があるため、開催会場の選定について、高齢者のニーズに応じた柔軟な対応をお願いしたい。	いきがい講座生や高齢者へのアンケート調査等を実施する中で、講座の開催場所のニーズについても確認し検討する。
						PDCAサイクルを適切に回すにあたって、事務事業調書のCHECK(評価)のニーズと行政関与の趣旨を踏まえた上で、当該項目の内容を見直していただきたい。	事務事業調書のCHECK(評価)のニーズと行政関与の記載が不十分であり、PDCAサイクルが適切に回っているか確認できない状況にあったため、例年実施している受講生アンケート結果の内容等をもとに、受講者のニーズが十分にある旨に、事務事業調書の内容を修正するなど、当該項目の内容を見直した。
						今年度市がいきがい講座事業を実施したことで判明した課題を踏まえて、提案型市民役事業の受託団体と調整していただきたい。	課題の改善に向けて、提案型市民役事業の受託団体と連絡調整を密にし、事業を実施する。
3	商工政策課	さばえものづくり博覧会開催事業	市内事業所を紹介することにより、市内産業の振興発展を図るとともに、後継者の育成に寄与するために、博覧会が3日間郷陽会館にて開催される。	事務改善	事務改善	集客につながるよう、イベント広報を工夫していただきたい。	来場者が幅広い年齢層であるため、SNSやホームページでの告知だけでなく、テレビでのスポット広告、新聞広告も利用し、集客を目指す。
						産業関係イベントが10月に多く開催され、出展者や来場者の減少に影響を与えている現状に鑑み、実行委員会においてイベントの開催時期を協議し、産業関係イベントの開催時期の調整に努めていただきたい。	気候の良い10月に様々なイベントが集中し、出展者や参加者の負担になっていることは否めないが、産業関係の出展者は、年間を通して各種展示発表会があるため、あらかじめ関係者が調整した上で、ものづくり博覧会の日程を決定している。 そのため、ものづくり博覧会の開催時期を大きく変更することは難しい。 同時期に開催されるイベントと日程調整の結果、来年のものづくり博覧会を、10月上旬に開催することに決定した。
4	にぎわい推進室	つつじまつり開催事業	西山公園のつつじを観光素材とした「つつじまつり」を5月GWに開催する。開催にあたっては、西山公園のつつじを活かした企画をはじめ、鯖江市の観光PRや物産販売、地場産業の情報発信を行う。また、中心市街地商店街のエリアでのおかみさん会や商店会等によるおもてなし事業もあわせて開催し、にぎわいを創出する。	維持	維持	「さばえ狂歌」に関する記念碑をパンフレットに明示するなど、イベントにおいて西山公園の歴史をこれまで以上にPRしていただきたい。	つつじまつりのパンフレットに西山公園の歴史や「さばえ狂歌」に関する記念碑の位置を表示するなど、間部詮勝公ゆかりの公園であることを更にPRする。
						他の事業で行っている手法を参考にしながら、財源の確保に努めていただきたい。	つつじの維持管理や持続可能なまつりの運営に向けて、来園者からの協力金をいただくなどの方策について、関係機関と前向きに協議する。
						商店街と引き続き連携をとりながら、街なかへの誘客を進めていただきたい。	おかみさん会等の商店街関係者の方と引き続き連携しながら、街なかへの誘客に努める。